



青森県 五戸高校少年消防クラブ
指導者 田中 さなえ

1 はじめに

青森県の五戸町は八戸市の北西に位置し、森林の多い緑豊かな町です。馬肉、倉石牛、青森シャモロックの三大美肉は五戸自慢の特産品です。人口は1万8千人弱で少子高齢化の影響で人口減少が進んでいます。

五戸町は過去に大きな地震が数回起きており、地震に対する意識や備えは高い町です。想定外の災害にも最小限に留めるように訓練しています。

2 女性消防団員の活動内容

五戸町消防団員は470名で、内女性団員は15名です。女性団員は本部女性班として平成15年2月に結成されました。

五戸地区消防団観閲式では徒歩部隊、車両部隊、ラッパ隊それぞれの部隊に分かれて参加しています。観閲式最後の玉

落とし競技では女性団員全員が参加し、男性分団と競い1位になったこともあります。また五戸祭りでは防火虎舞の太鼓や笛で参加し、防火祈願をしています。

他にこども園の防火教室、五戸町総合防火訓練の参加、普通救命講習会のインストラクターなどの活動もしております。

3 少年消防クラブの活動内容

五戸高校少年消防クラブは、高校生の消火意識の向上と技術の習得を目的として、平成22年3月に青森県で初めての高校生の消防クラブとして結成されました。今年で8年目を迎え17名のクラブ員が活動しています。店会のイベントでは、軽可搬ポンプ操法やAED等による救急訓練を披露しました。

放課後1時間、計5回の訓練でしたが、熱心に取り組み本番では町民から大きな拍手を頂きました。



救命講習会



軽可搬ポンプ操法訓練



AED等による救急訓練

中学生の五戸高校体験入学では、クラブ員がドレミの歌に合わせ救命救急の手順を紹介し、体験者には「大変分かりやすい」と好評を得ました。



中学生の高校体験入学での救命救急の手順紹介

普通救命講習会の際は、消防署員から「大きな声を出す勇気が大事です」との助言に納得していました。

その他に規律訓練、五戸地区消防団観閲式の参加などが今までの主な活動です。

4 今後の課題

ほとんどのクラブ員は生徒会や部活に

所属している為、訓練の時間が放課後1時間しか取れないことや、消防行事と学校行事が重なり参加者が少ないことです。

指導者の女性団員も全員仕事を持っている為、特に平日の指導には人数確保が困難になっています。そんな時は消防署員に力を借りながら指導しているのが現状です。

消防クラブの指導にあたり、私達女性団員も一層知識や技術を学んでいく必要があります。防災力の向上に繋げていかなければならないと思っています。

5 今後に向けて

近年どこで大規模災害が発生しても不思議ではなくなりました。社会情勢の変化により、現在では町外への勤務先が殆どで、日中の災害時に消防団員を確保することが困難になっています。

そこで体力的にも団員と変わらない高校生に実践的な活動を取り入れ、防災活動に積極的に参加しながら災害時には落ち着いた行動ができるように訓練しています。

クラブ員には自分を守る「自助」を第一とし、地域の防災リーダーとして活躍できるよう一層努力していくことを願っています。